



向陵広場

発行号 第93号

発行日 令和4年4月14日(木)

発行元 向陵編集校友会

責任者 伊藤有司 (県商10回卒)

剣詩舞と共に歩む 入倉 昭星(幸一) 県商32回卒(昭和58年3月)

日本壮心流 昭武館総本部

プロフィール

1965年2月20日、宗家二世・入倉昭星の長男として剣詩舞の家系に生まれ、3歳から剣武を始める。

剣詩舞にとどまらず活動の幅を広げ、和太鼓グループ”鼓刀舞鼓一座”を結成して自ら座長を務め、また甲流小鼓では”田中傳左武郎”を襲名している。

1996年31歳、自流の創流90周年大会にて「宗家三世」を継承。現在に至るまで剣詩舞界に新たな風を吹かせ、数多くのコラボレーションを成功させている。

2021年、自流の創流115周年大会にて名跡「昭星」を襲名。

1987年(財)群舞コンクール剣舞の部 優勝

1990年(財)群舞コンクール詩舞の部 優勝



剣詩舞について

剣詩舞は「剣舞」「詩舞」という二種類の舞踊からなる、日本伝統芸能です。

どちらも詩吟(吟詠)に合わせて舞うことから「吟剣詩舞道」とも呼ばれています。

剣詩舞は武士が興した芸能であり、古武道の型を尊重した”武人の舞踊”としての面と、詩の心を表現する”舞台芸術”としての面を持っています。まさに武道と芸能が融合した芸道であると言えるでしょう。

壮心流について

日本壮心流は初代入倉昭星によって明治38年に開かれ、今年で創流から116周年を迎える剣詩舞の流派です。愛知県豊橋市に本部を構え、愛知・静岡・岐阜、そして東京や茨城、九州にも支部を置いています。

